

WORK LIFE BALANCE

～働き方改革に取り組む職員の声～

育児等に関する両立支援制度

両立支援制度のほかテレワークを活用するなど柔軟な働き方ができます

■出生サポート休暇

（第二子以降でも使用可能）
年5日（体外受精・顕微授精に係る通院等の場合は10日）

■産前・産後休暇

産前6週間、産後8週間
（多胎妊娠の場合は産前14週間）

■保育時間

1日2回それぞれ30分以内で
勤務しないことが可能

■育児休業

配偶者の就業等の状況にかかわらず、原則2回まで取得可能

■育児短時間勤務

短い勤務時間（3時間55分×5日等数パターン）での勤務

■育児時間

1日の勤務時間の始めか終わり（2時間まで）で勤務しないことが可能

■子の看護休暇

年5日（対象となる子が2人以上の場合は年10日）

■育児を行う職員のフレックスタイム制

始業・終業時刻を繰り上げ又は繰り下げて勤務

■介護休暇

6月の期間内で必要と認められる期間

■配偶者同行休業

3年を超えない範囲内

Interview. 1

第一子の誕生にあたって

令和6年3月に第一子が誕生しましたが、その際、妻の出産に係る特別休暇（配偶者出産休暇）を取得し、子の誕生の瞬間に立ち会うことができました。その後、育児休業も取得し、生まれたばかりの自分の子どもとじっくり向き合う時間を確保できたほか、出産直後の様々な苦勞を妻と一緒に乗り越えることができ、家族としての絆もより一層深まったと感じています。周囲の理解や協力を得ながら、様々な制度を活用させていただくことで、自分の人生にとって大きな節目となる瞬間を有意義に過ごすことができました。

世の中では、ワークライフバランスを重

視した働き方が推奨されていると思います。霞が関も例外ではありません。心身の充実が仕事上のパフォーマンスの向上と深く関連していることを日々痛感しているところであり、持続可能な働き方を今後も継続していきたいと考えています。

現在、私は通常勤務に復帰しておりますが、必要に応じてテレワークを実施しているほか、退庁後に緊急な案件が発生した場合であっても、チャットアプリなどを活用することで迅速な対応が可能です。今後、子どもの成長も楽しみにしつつ、行政官としての更なる成長も追いかけていきたいと考えています。



財務省大臣官房政策金融課 課長補佐

荻島 史哉 [2016年採用]
OGISHIMA Fumiya

2019年 近畿財務局理財部
金融証券検査官
2020年 財務省国際局開発政策課 係長
2021年 財務省主計局給与共済課 係長
2022年 留学（英・LSE）
2023年 現職



Interview. 2

子育てしながら霞が関、海外で働き続ける

霞が関勤務×子育て

2023年4月に育休復帰し、金融庁企画市場局で課長補佐として勤務しました。子供の急な病気、保育園のお迎え時間など子育てをしていると制約が生じてしまいますが、テレワークやフレックス制度を活用して勤務時間を変更したり、在宅勤務で病児シッターを活用したりしながら対応していました。制度の企画立案など忙しい業務も多かったですが、最近是在宅可能な業務も増えており、自宅から対応できることも多く大変ありがたかったです。どんなに大変な中でもお迎えに行った時に「ママー」と駆け寄り子供の顔を見ると、胸がいっぱいになり、また明日も頑張ろうと思えました。財

務局総合職の霞が関（財務省・金融庁）と全国の財務局双方で勤務するという特色から、これまで経験してきた業務を生かし、比較的なじみのある部署に復帰できたことや、育休明けでも働きやすいようにとの配慮もあり、また復帰後の職場の方々の理解や協力があったことで、子育てと両立して勤務することができました。自分の今後のキャリアを考えていくと様々な選択肢がありましたが、霞が関で働くという選択ができて本当に良かったです。

（株）国際協力銀行シンガポール
駐在員事務所駐在員
仁井田 朋子 [2017年採用]
NIIDA Tomoko

2019年 財務省理財局
財政投融资総括課係長
2020年 関東財務局理財部
金融証券検査官
2022年 育児休業
2023年 金融庁企画市場局総務課
課長補佐
2024年 現職



海外勤務×子育て

現在、国際協力銀行に出向し、シンガポール事務所に駐在しています。いつか海外勤務をしたいと思っていましたので、人事当局とも相談し、夫のシンガポール転勤とあわせて、私自身も出向し、子育てをしながら海外で働く機会を実現することができました。

海外での生活に不安はありましたが、実際に暮らしてみると、シンガポールは治安もよく、日系のスーパーやレストランもあるの

で、生活や子育てにも困りません。赴任当初は登園を嫌がる我が子を見て心を痛めていましたが、早速友達も出来て楽しそうに過ごしており、子供の順応性の高さに驚いています。業務に関しては様々な分野の方々とお会いでき、刺激が多い毎日です。子育てをしながら働いていると、勉強の時間を確保することが難しく、歯がゆいこともありますが、それは日本にいても同じことと割り切って隙間時間で学び続けています。また、こちらに来てみるまでわかりませんでした

が、子連れの女性駐在員の方も多くいらっしゃいます。皆さん大変な努力をされており、今後の女性のキャリアが持続可能であるためのフロンティアとなるべくがんばっていらっしゃいます。

これまで色々な方のサポートのおかげで子育てと両立して働くことができて現在の環境に改めて感謝するとともに、今後、更に男女ともにライフイベントと両立して活躍できる社会になれるように貢献していきたいと思っています。



最後にパンフレットを読んでいた皆さんへ

霞が関（財務省・金融庁）、財務局、海外など財務省財務局総合職の働くフィールドの広さを最大限に活かしてこれまで勤務してきました。結婚・子育て・介護など長く働き続けると様々なライフイベントが発生します。チャレンジな選択をしたり、どちらかを重視した選択をしたり、どんな選択でも毎回新しいことに飛び込む不安はあ

りますが、財務局総合職は、職場のサポートもあり、様々な選択肢もあるので、持続可能な働き方が実現可能だと考えています。初めての環境に飛び込む不安は大きいと思いますが、是非興味を持った方はチャレンジしてみてください、一緒に働ける日を楽しみにしています。

シンガポールでの生活

9:00
出社

出勤前

保育園まで送迎。毎日バタバタですが、鳥や緑も多く子供と気持ちよく散歩しています。

面談やセミナー参加、レポート作成等

面談やセミナーに参加したり、現地報道などを通じて現地の政治経済の動向を日々チェックし、レポートを作成しています。お昼は、近くのホーカー等で多国籍な料理を楽しんでいます。

17:30
帰宅

帰宅後

帰宅後も子供のお世話で大変ですが、金曜は外食が大好きなシンガポール人でにぎわう街に家族で繰り出すこともあります。